

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2002年放送分](#) > 11月16日放送分 風通し良好が決め手 野菜加工会社・倒産危機からの脱出

## 11月16日放送分 風通し良好が決め手 野菜加工会社・倒産危機からの脱出

16日 (TX・TVO)

17日 (TVA・TVH・TVQ・RCC)

18日 (BSJ) 放送

もやし製造販売を主力に創業した(株)旭物産(資本金2,000万円、従業員300名)は、カット野菜、大根のつまなどへ業務を拡大し、これらの製品は現在の三本柱となっている。順調に業績を伸ばしてきたかに見える同社だが、実は、倒産の危機、本社工場の火災など、困難を経験している。

堅実経営に転換し、さらなる発展を続ける同社の取組みを紹介する。

### 風通し良好が決め手

#### 野菜加工会社・倒産危機からの脱出

[視聴覚教材No. TV14-33](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)

今回、志垣さんが訪れたのは茨城県。一時は倒産の危機を迎えたが、そこから持ち直したという野菜加工会社へ向かいます。



「カップサラダを手に」

1971年に、もやしの製造・販売を目的に設立。今では、カット野菜などの加工も手がけ、売上げは40億に達しようとする勢い。



「旭物産 林社長」



もやし



カップサラダ



大根のツマ



鍋セット



志垣さん、いよいよ もやし生産工場へ。つと、その前に、エアー室を通り、その後、粘着テープでローラーがけ。(作業中にも30分に1回行われる。)細かい埃も除去。

そして、再度、足を消毒。細かい衛生管理に志垣さんはびっくり！

POINT: 徹底した衛生管理



コンピューター管理によって育成されるもやし。そして、使われている水は、もやしを育てるのに適した特別な水。

POINT: 徹底した合理化とこだわりの共存



現在、徹底した管理体制によって、売上げを伸ばす同社が、過去に倒産の危機に直面した、その理由は・・・関東、関西、九州に、もやしの工場を作り、規模を拡大。トップの人間は上しか見ていない。それに対し、下は「トップが勝手にやっていること。自分達には関係ない」と。

POINT: 管理体制の崩壊から赤字へ



この間々じゃいけないと、平成3年に風通し委員会を作り、経営陣が従業員の声に耳を傾けた。率直な意見の交換が行われ、職場環境が改善。また、拡大してきた支店も撤退することに。

POINT: 社員の心をひとつに

POINT: 環境が良くなることで効率アップ







収益が上向いた矢先に、本社工場が火災に……。しかし、社員一丸となって会社を建て直そうと。そして、この年、過去最高の売上と利益を上げた。



現在、カット野菜専用の新工場を建設。「お客様から満足を頂き、その分出荷が増えました。」と林社長。この成果をもたらしたのは……「社員がその気になった。社員が会社を思って努力した結果です。」と。

[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN